最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します。



ニューヨーク事務所

Get To Know Nagano ~長野県の魅力をニューヨークで発信!~

2019年11月20日にニューヨークのジャパン・ソサエ ティにて長野県の観光名所や物産を通じてその背景にある 文化や暮らしの魅力を紹介する「Get To Know Nagano」 と題した講演やワークショップが行われ、クレアニューヨー ク事務所職員が運営の支援を行いました。レセプションでは 県内各地の日本酒を振舞い、参加した約140人が長野県産 のそばとのマリアージュを楽しみました。ワークショップで は、七味メーカーによるレクチャーのもと参加者が自分の好 みに合わせて香辛料を調合し"マイオリジナル七味"をつ

くる体験や伝統 工芸品の1つで ある飯田水引を 使って「平梅」 という梅の花の 形をした飾りを つくる体験をし ていただき、五 感で長野県の魅 力を感じてもら える機会となり ました。



日本酒の試飲を楽しむ参加者© Japan Society, photo by Daphne Youree

州政府協議会全国会議 意見交換会開催=プエルトリコ

2019年12月4日、クレアニューヨーク事務所は、全米 の州議会議員や州政府関係者との交流を深める目的で、州政 府協議会全国会議の開催日程に合わせてレセプションを開催 しました。意見交換会には、JET 経験者や過去の自治体幹部 交流協力セミナー参加者、アメリカ、カナダの議員も含めて 約120人が参加し、州政府協議会からは今後の当事務所へ の継続した支援を取り付けることができるなど、関係強化の 場となりました。

また、総会の各セッションでは、アメリカ、カナダ政府の

公共政策につい て説明があり、 両国の政策決定 方法の難しさを 改めて感じると ともに、各州と の関係強化に努 めることの重要 性を再認識しま した。



意見交換会に参加する州政府協議会会長 (一番左端) および州政府関係者

パリ事務所

魅力的な地方の工芸品を紹介!第7回「伝統と先端と~日本の地方の底力~」展を開催

クレアパリ事務所では、2020年1月21日からの10日間、日本の地方に根付いた伝統産業技術にスポットを当て、地方が 持つ知られざる魅力をフランスにおいて発信する第7回「伝統と先端と~日本の地方の底力~」展を、日本文化の発信拠点であ るパリ日本文化会館において開催しました。日本各地の17自治体から出展された伝統産業工芸品について、「衣」、「食」、「住」 をテーマに展示するとともに、会場での販売を通じてテストマーケティングも行いました。会期中には、約5,700人が来場、「時 代に合う製品として伝統が生き続けることや日本の職人の技術に感動した。是非、実際に使ってみたい」といった来場者の声が 寄せられるとともに、ほぼすべての自治体で売上げがあがるなど、欧州での販路開拓を目指す地方自治体にとって、絶好のテス

トマーケティングの機会となりまし た。また同会場では、金箔職人(金 沢市) や博多織職人(福岡県)等に よる実演やミニ畳のコースターを作 成するワークショップ(倉敷市)も 催され、匠の技に多くの来場者が惹 きつけられていました。次回の第8 回展は、今年10月、例年のパリに 加え美食の都リヨンに昨秋オープン した国際美食館で開催される大規模 な日本食の紹介イベント「日本食月 間」において、「食」をテーマに実施 する予定です。



衣食住のテーマ別展示に見入る来場者



金箔職人 (金沢市) による実演 (元 JET の市職 員による説明)



北京事務所

杭州市で福井県の料理体験イベントを開催!!

2020年1月11日、浙江省杭州市のABC Cooking Studioで、福井県の料理体験イベントを開催しました。同イベントは、 地域の認知度向上と訪日観光客の誘客促進を目的としており、福井県は今年度3回目の実施自治体となります(第1回目は鹿児 島県、第2回目は群馬県沼田市が実施)。

イベントでは、最初に福井県職員から県の観光や食文化などを参加者に紹介し、県に対する理解を深めていただいた後、「ソー スかつ丼」、「焼き鳥」、「殿下のぼた餅」の3品の料理にチャレンジしていただきました。また、ウェルカムドリンクとして地元

の酒蔵が製造しているゆず酒を提供しましたが、とても 飲みやすいと好評でした。

会場は100人近くもの応募の中から選ばれた40人 の参加者でにぎわい、料理中に撮影した写真を SNS で 共有・拡散する姿が多く見られるなど、多くの方に県の 魅力をアピールできる良い機会となりました。また、イ ベント終了後は「現地で実際の料理を食べてみたい」、 「福井県へ旅行に行きたい」など、好意的な感想が多く 寄せられました。







参加者との記念撮影



シドニー事務所

豪州多文化主義政策交流プログラム開催-ビクトリア州メルボルン-

クレアシドニー事務所では、2019年11月18日か ら 23 日まで「豪州多文化主義政策交流プログラム」を 開催し、日本全国から11人が参加しました。

このプログラムは、日本の自治体職員および地域国際 化協会職員などが、全人口の約3割が海外生まれとい う豪州における多文化主義政策や先進的な取り組みを実 地で学び、日本における多文化共生施策の企画立案など に役立ててもらうことを目的に毎年開催しているもので す。2019年度は、ビクトリア州メルボルンで開催しま した。メルボルンでの開催は2年ぶり2回目となります。 参加者は、ビクトリア州政府、メルトン市などの政府



プログラム参加者とビクトリア州エス プログラム最終日に本プログラム ニックコミュニティ協議会スタッフの で学んだことを参加者同士で振り 集合写真



機関、学校、NPO、病院、メルボルン都市消防局など合計 10 の機関を訪問し、先進的な取り組み事例などを学びました。

本プログラムにおいては、意見交換の場などを通じて、参加者は、各機関の職員からホームページなどでは得られない生の情 報を得ることができ、外国人住民が増えてきている日本の自治体などにおける多文化共生施策の企画立案などの参考になったと 数多くの反響をいただきました。



シンガポール事務所

東南アジア最大級のアニメイベントで訪日 PR!!

東南アジア最大級のアニメイベント [C3AFA Singapore 2019] がシンガポールで開催され、2019 年 11 月 29 日から 12 月 1日までの3日間で、国内外から12万人以上の日本アニメのファンが来場しました。

クレアシンガポール事務所では、東南アジアのアニメ好きな若者をターゲットに、アニメ・漫画を通した訪日 PR を実施する べく、昨年に引き続き出展を果たしました。

同ブースには、日本から東京都豊島区、茨城県、宮城県の3自治体が参加しました。豊島区は、アニメイトと協同制作した「池 袋 PR アニメ」のプロモーション、毎年開催する区内のコスプレ・アニメフェスティバルの周知を行いました。茨城県は、県公認 Vtuber「茨ひより」出演の動画の放送、茨ひよりの全身パネルとの写真撮影を実施。宮城県は、石ノ森章太郎が生んだ石巻の

ヒーロー「シージェッター海斗」が駆けつけるなど、 それぞれが各地域自慢のコンテンツを活用した魅力発 信を実施しました。

イベント期間中客足は絶えず、インターネットメディ アから配信の提案があったり、終了後もイベント関連 会社から企画提案が持ちこまれるなど喜ばしい反応が 得られました。また、クレアで実施したアンケートに も多くの回答が得られました。

今回の出展では、来場者の客層の若さと熱気が大変 印象的で、アニメコンテンツによるインバウンドのさ らなる潜在可能性を実感しました。



3 自治体との集合写真



来場者に動画の説明をするシージェッ ター海斗



ソウル事務所

韓国メディア「チャンネル 」」が北海道帯広市を訪問取材!

2020年1月14日から16日にかけて、韓国メディア「チャンネル」」の取材団が、クレアソウル事務所との連携により、北 海道帯広市を訪問取材しました。

まず取材したのは、旧国鉄・広尾線の駅で1987年に廃駅となった「幸福駅」。名前を見 ただけで誰でも一度は足を運びたくなる日本一幸せな駅として多くの観光客が訪れます。続 いてスノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールドでは、モバイルハウス「住箱」を使って、 雪景色の中でも快適なデイキャンプを体験。地元の食材を使ってコーンスープやホットサン ドを調理しました。

帯広市は重りを載せた鉄ソリを引いて力とスピードを 競う「ばんえい競馬」で有名で、今回は馬車に乗って市 内を観光できる「馬車 BAR」に乗車しました。市内観 光を楽しんだあとは、さまざまな個性的な店が軒を連ね る「北の屋台」に立ち寄り、冬の帯広のグルメを満喫し ました。

取材の模様は今後、「チャンネル 」」にて複数回放送 予定です。今後も引き続き各地を取材して、日本の地域 の魅力を伝える番組を制作・放映予定です。



北の屋台での撮影の様子



幸福駅での撮影の様子



ロンドン事務所

地域ブランディング戦略に関する所内研修を開催

2019年12月16日、クレアロンドン事務所では、ウォルサム・フォレスト区で心理地理学者として活躍されている John Rogers (ジョン・ロジャーズ) 氏を講師に招き、[London Borough of Culture as area branding strategy] をテーマに、 地域の魅力をどのように発信していくかについて研修会を開催しました。

ロンドンの北東に位置し、自然と都市が共存するウォルサム・フォレスト区は、2019 年、初の London Borough of Culture に選ばれました。London Borough of Cultureとはロンドン市が出資するプロジェクトで、選ばれた区は1年を通して、ロン ドンの芸術と文化の多様性を PR するためさまざまな文化活動を行います。

地理的環境が人々の行動と感情に及ぼす影響を研究する学問である心理地理学を活用して、Rogers 氏は、同プロジェクトの 一環で同区のウォーキングツアー事業などを企画しており、ツアーでは、参加者に、街

を普段とは異なる視点で観察することを促し、こ れまでの発展の歴史や隠れた街の魅力の気づきを 与えることで、参加者に街の良さを再確認しても らうことを目的としています。

研修では、London Borough of Culture やツ アーの事業概要のほか、自治体のイベント PR に YouTube を効果的に活用する方法や、街の隠れ た魅力を発掘するために必要な観察の視点等につ いて説明されました。



研修の様子



ウォーキングツアーを行う Rogers 氏



多文化共生課

「多文化共生ポータルサイト」を大幅リニューアルしました!

自治体や地域国際化協会・市区町村国際交流協会の方を中心とした、多文化共生に関わる方の施 策立案や情報収集をサポートする、より使いやすいサイトを目指してリニューアルを行いました。

新しい事業を立ち上げる際に、国の動向の確認や、他の地域ですでに作成されているツールの活 用の検討、アドバイスをもらう有識者を探すなどといった情報収集を行う時や、新たに多文化共生 担当となった方には、多文化共生の全体像をつかむためにもご利用いただけます。また、災害が

迫っている時や発生時にすぐに役立つ情報もまとめています。いざと いう時に活用できるよう、どのような情報が掲載されているかぜひ一度 ご覧ください。

まだ発展途上のサイトですので、ご意見などがありましたら多文化共 生課までご連絡ください。

多文化共生ポータルサイト

URL: http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/ または、「多文化共生ポータルサイト」で検索してください。





多文化共生ポータルサイト



交流親善課

第7回日仏自治体交流会議への参加自治体を募集しています!

日仏自治体交流会議は、日仏両国の自治体が一堂に会し、共通の行政課題や先進施策等について発表・議論することで両国の 地方自治の発展に寄与することを目的に開催しています。

第7回会議は、フランスのエクサンプロヴァンス市で開催します。

·期 間:2020年11月16日(月)~19日(木)

・場 所:フランス エクサンプロヴァンス市

・テーマ:「包摂的で持続可能な都市のためのイノベーション」

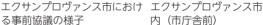
分科会 1 「どのような持続可能な経済モデルを目指すべきか?」

分科会 2 「すべての人が尊重される成熟社会」

分科会 3 「環境の当事者としての地方自治体会議」

本会議は、フランスとの姉妹都市交流等を行っている自治体だけでな く、今後フランスとの交流を希望する自治体も参加いただけます。詳細 は、クレア HP(http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/nichifutsu.html) にアクセスしてください。







内 (市庁舎前)



インバウンド・販路開拓事業に関する困りごとは PA にお任せください

クレアでは、自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験 をもつ専門家(プロモーションアドバイザー、以下 PA)を自治体に派遣する事業を実施して おり、今年度は9自治体に派遣しました。

ムスリム対応からデジタルマーケティングまで幅広く対応しますので、まずはお気軽にご 相談ください。

なお、アドバイザーや過去の派遣実績の詳しい内容は、クレアホームページ「経済交流課」 の PA 事業のページをご覧ください。

・お問い合わせ:交流支援部経済交流課 担当 渡辺

Tel: 03-5213-1726 Fax: 03-5213-1742 Email: keishin@clair.or.ip



ムスリム対応調理法を指導するア ドバイザー (島根県益田市)

	今年度の実績	(1月末現在)
派遣先	派遣アドバイザー	

	派遣先	派遣アドバイザー	依頼概要		
1	青森県弘前市	トリップアドバイザー(株) 日本 DMO セールスマネージャー 松本麻記子氏	□コミサイトをはじめとした情報発信についてのセミナーへの講師派遣		
2	長崎県	(株) クリップ	通常は夜間立入が禁止されているエリアへのナイトツアー「雲仙仁田峠プレミアムナイト」や雲仙地獄等の 観光素材について外国人観光客向けにアレンジするための助言		
3	新潟県	(一社)ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間朋宏氏	ムスリムインバウンドの受入環境整備に関するセミナーへの講師派遣		
4	兵庫県三田市	(株) JC プラン	インバウンド誘客セミナーへの講師派遣		
5	島根県益田市	(一社)ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間朋宏氏	ムスリムインバウンドの受入環境整備および誘客に関する助言		
6	滋賀県	(株)JC プラン	台湾向け輸出事業についての方針や事業者への個別支援等についての助言		
7	愛媛県宇和島市	内閣府クールジャパン 地域プロデューサー 陳内裕樹氏	インバウンド等適切なターゲットに適切な情報発信を行うための庁内職員のデジタルマーケティング研修		
8	大阪市西成区	(株)ダイヤモンド・ビッグ社	地域活性化イベントへの外国人観光客の呼び込みおよびイベント PR 方法に関する助言		
9	静岡県富士市	内閣府クールジャパン 地域プロデューサー 陳内裕樹氏	インバウンド等適切なターゲットに適切な情報発信を行うための庁内職員のデジタルマーケティング研修		

※派遣回数:原則2事業まで派遣可能。1事業につき、最大2回まで派遣できます。



JET プログラム事業部

CIR が地域の文化財等を紹介!!

文化庁、宮内庁、読売新聞社では、皇室ゆかりの優品や国宝・重要文化財をはじめとする日本の美を広く国内外へ伝えるため に、「紡ぐプロジェクト」という事業を連携して行っています。その事業の一環として、紡ぐプロジェクトウェブサイトに、国際 交流員(CIR)が地域の文化財等を紹介するコラムを多数掲載しています。

「別府の竹細工」、「千葉の太巻き祭り寿司」や「仙台市の瑞鳳殿」等のさまざまな地域の文化財等を CIR が外国人の目線で執筆 した大変興味深いコラムが日本語および英語で掲載されていますので是非ご覧ください。

・URL https://tsumugu.yomiuri.co.jp/ 紡ぐプロジェクト りょ 日本語版: トップページ > 知る 英語版: トップページ> $EN^{"}$ > Learn

また、紡ぐプロジェクトでは、コラムの寄稿を随時募集していますので、希望される場合は、

任用団体(担当課)からご連絡ください。国内外へ地域の 文化財等を PR することができる貴重な機会になりますの で、CIRの任用団体の皆様におかれましては是非寄稿をご 検討いただければ幸いです。

・連絡先 紡ぐプロジェクト事務局 担当 松浦

Tel: 03-3216-2316

Email: tsumugu@yomiuri.com



紡ぐプロジェクトウェブサイト(英語版) CIR が寄稿したコラム(一例)

